

2006 年度

科目名 フィールド・リサーチ A	対象学科・学年 文学部コミ 2 回生 人間人社 2 回生	担当者 岡島 克樹
授業テーマ 定性的調査法の基礎を取得する		
授業の概要と目標 図書館で文献を調べる、現場に足を運んで自分の目で観察する、人に話を聞く、アンケートを配って答えてもらう。知りたい疑問の答えに関する情報を集めて、分析するリサーチの方法はさまざまある。この授業では、特に、定性的調査法と呼ばれる調査法の中からインタビュー調査法とそこから得られた情報を整理する KJ 法を体験的に学ぶ。		
評価方法 グループ課題等を見て判断する。		
テキスト 適宜コピーして配布する。	著者	出版社
参考書 『フィールドワークの新技法』 『フィールドワーカー書を持って街へ出よう』	著者 中村尚司・広岡博之編 佐藤郁哉	出版社 日本評論社 新曜社
授業スケジュール・内容 1. はじめに（授業のルール、実技科目の学び方） 2. 思考の「幅」と「深さ」、調査法の種類概説（定性的調査法と定量的調査法） 3. 定性的調査法と定量的調査法の補完関係 4. リサーチクエスションの立て方（絞込み・定性的調査法にあったクエスション） 5. インタビュー調査法（その1）：調査報告書の書き方・インタビュー調査の準備（その1） 6. インタビュー調査法（その2）：インタビュー調査の準備（その2） 7. インタビュー調査法（その3）：インタビューの実施 8. インタビュー調査法（その4）：インタビューの実施 9. インタビュー調査法（その5）：インタビュー結果の整理法（KJ 法その1） 10. インタビュー調査法（その6）：インタビュー結果の整理法（KJ 法その2） 11. インタビュー調査法（その7）：調査報告書のルール（調査報告書・レポートに必要な項目とは何か？） 12. インタビュー調査法（その8）：調査報告書のルール（引用の仕方） 13. インタビュー調査法（その9）：課題提出と調査報告書のピアレビュー 14. インタビュー調査法（その10）：学生のレポートに見られる弱点の解説 15. まとめ		